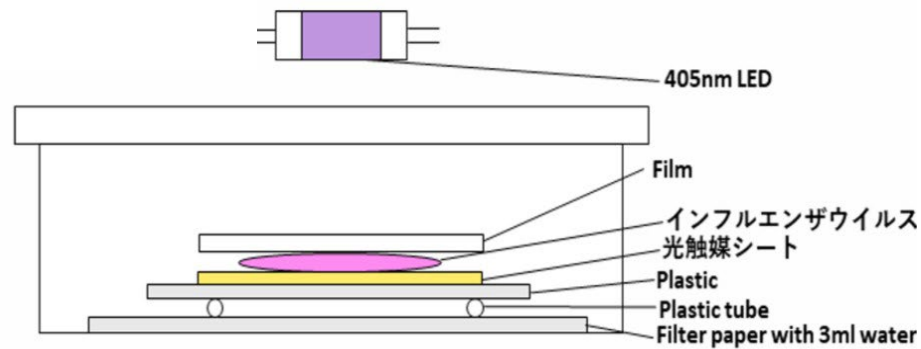




<実験の模式図>

プロトコル：

- ①4cm角のろ紙を敷き、3mlのMilliQを加える。
- ②プラスチックチューブの上に、4cm角のプラスチックを乗せる。
- ③その上に、光触媒シートあるいはガラスシートを乗せる。
- ④ 2.0×10^6 PFU / mlの高病原性鳥インフルエンザウイルスを、1 ml滴下する。
- ⑤OHPフィルムでカバー。
- ⑥10cmの距離から、1時間光を照射。
- ⑦9 mlのMEM/BSAでウイルスを洗い出す。
- ⑧1倍から 10^4 倍まで希釈をし、500 μ lずつMDCK細胞に1時間感染させる。
- ⑨PBSで一度洗浄し、アガロースを重層する。
- ⑩2日間培養し、プラーク数を測定。